

平成29年度第1回 笠松町地方創生総合戦略審議会 議事概要

日時	平成30年2月2日（金） 19:30～20:45
場所	笠松町役場 4階大会議室
出席の委員	岩井会長 岩村副会長 内藤委員 葛谷委員 岡田委員 森委員 久納委員 古田委員 林委員 樋口委員 （以上10名）
欠席の委員	岩田委員
議事概要	

① 町長あいさつ

地方創生は国の重要課題として法律も制定され、笠松町でも笠松町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定している。31年度までの5カ年計画であり、29年度が中間年である。KPIを設定しPDCAサイクルにおいて評価いただいている。

これまでの実績についてご協議いただき、来年度以降も効果的な事業が推進できる様、忌憚のないご意見をいただき会議を進めたい。

皆様と一緒に笠松町が素晴らしい発展ができる様、お力添えをいただきたい。



② 会長あいさつ

27年10月に最終の答申を作成したが、2年たった現在は地方創生の声はあまり聞こえなくなった。本来地方創生は地方を元気にし、東京一極集中を防ぐ役割だったはずだが、実は東京一極集中はさらに進んでおり、岐阜県からも5,000人強が転出している。

一方で、各自治体が生き残っていくためには、地道なことをやっていかざるを得ない。答申の最後に、近隣市町との連携を推進していくという項目を加えたが、そのような取り組みも具体化しようとしている。

皆様に2年間の評価について忌憚のないご意見をいただきたい。

③ 審議（検討・質疑応答等）

[笠松町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について]

<基本目標1>仕事をつくる

- 各種セミナー参加者数のKPIはどういったものか
 - 1回20名参加のセミナーを年2回、年合計40名の参加を目標とするもの。
- セミナー参加者数が29年度落ち込んでいるが要因は何か。
 - 29年度は12月までの数値であるため、最終的にはもう少し増えると思われる。
- 未実施の項目が散見されるが、残り2カ年で実施可能か。
 - 仕事をつくる分野においては、町単独では難しい部分がある。今まさに中枢連携の協定を結んだところであるため、例えば企業説明会も合同実施が可能であると考えている。商工会等とも相談させていただき、計画期間内に十分進捗できるようにしていきたい。

<基本目標2>笠松に呼び込む

- 笠松町で空き家を探しているが、見つからないという声を聞いている。空き家バンクのサイトで検索できると、割と便利な田舎として発信できると思う。
 - 国が昨年に空き家バンクのサイトを開設した。笠松町としてもどうやって情報を収集するのかを調整している。そこで国の形とも整合性をとり、立ち上げを進めたいと考えている。
- アプリをダウンロードしたが、笠松町にはほとんどWi-Fi環境がない。良いコンテンツを作るのと利用しやすい環境を作るのをセットで考えていくべき。
 - 「4. 安心なくらしをつくる」でWi-Fiスポット数をKPIとして設定しているが、現在は下羽栗会館や総合会館等計6か所となっている。

- Wi-Fiスポットが下羽栗地域に偏っている理由は何か。
 - auの関係。厳密に言うとFreeスポットではなく、auの端末のみアクセスできる。災害時はドコモやソフトバンクにも開放される。
- まちの駅が町内に多くあるため、ここをどうやってネットワーク化するかというのが課題。それと同じ数くらいWi-Fiスポットがあるといい。

<基本目標3>ひとを育む

- この中に笠松力検定の項目も追加してほしい。郷土を愛する前に郷土を知る必要がある。その意味で笠松力検定を有効に利用したい。
- 追加すべきものがある場合は、追加してもよいと思う。それがローリングしていくという意味だと思う。
- 特色ある環境づくりという意味でも、郷土を知ることは重要。
- KPIを何にするかも重要。合格者は減少傾向にある。
- 笠松町の中学生を対象に実施した意識調査において、「笠松町で自慢できることはなんですか」の問いに、50%以上が笠松町の歴史、文化、自然、イベントと回答している。子どもがこんなこと言う地域はあまりない。誇りや愛着を持つことが定着に繋がると考えている。
- 高校生を連れて年1回、こどものまちの全国サミットに参加しているが、他の自治体ではあまりないが、笠松の子は団体紹介をするときに笠松町の宣伝をして、子供たちの中では笠松町が有名になっている。検定の影響も出ていると感じている。
- 「3.ひとを育む」に「②郷土愛を育む」等をつくってはいかがか。笠松力検定を追加することに異議ありませんか。
 - 各委員：異議なし
- KPI等については事務局で相談してください。

<基本目標4>安心なくらしをつくる

- 「①高齢者の生きがいづくり」の「ふれあいサロン・ふれあい喫茶設置数」について、数が減っていないのは素晴らしい。増やしていくことも必要だが、中身も充実させていかなければいけない。評価の中に中身を重視するものもあるといい。
- サイクリングの実績はどうか。笠松町には何か目玉があるといい。その一つとしてサイクリングロードというのはいいと思う。単なるサイクリングロードだけでなく、プラスアルファの笠松町らしさを考えていくと魅力の発信にもなる。
- レンタサイクルはどこで借りられているのが多いか。
 - みなと公園でのレンタサイクルの利用が多かった。
- レンタサイクルのKPIの数字に対して実績は上回っているが、KPIの数字を上方修正してもよいのでは。
 - 数年やってみてある程度のデータは取れたので、そこから考えていきたい。
- 昨日サイクルの協議会を行ったが、その際、レンタサイクルの付加価値について中々意見が出なかった。どうしたらレンタサイクルにさらに成果がついてくるか意見があればいただきたい。
- レンタサイクルの実績の数字も大半が土日。サイクリングロードが河川環境楽園へ繋がったときはまた意味が違ってくる。町へ呼び込むためには、健康ウォークや馬車など回遊できる仕組みがあるといい。
- 北原白秋が「木曾川」というエッセイを書いている。その中で日本八景として木曾川も選ばれている。サイクリングだけでなく、川とセットで考えていくと、そこに付加価値があるように思う。
- 全体的に「笠松らしさ」という視点は必要。